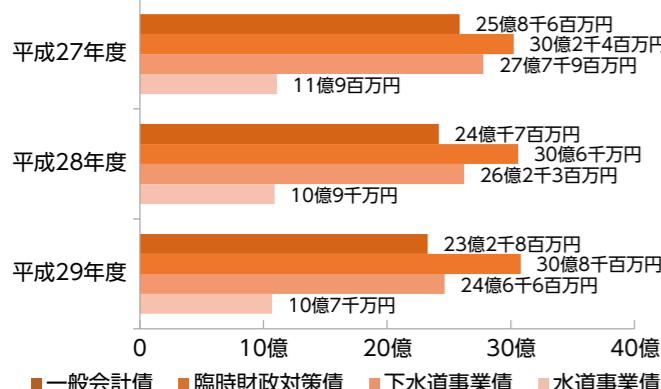


平成29年度開成町決算報告

▼町債(各年度末残高)



▼財政健全化判断比率

指標	開成町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	20.0	40.0
実質公債費比率	6.7	25.0	35.0
将来負担比率	30.5	350.0	—

※赤字額などがない場合は「—」で表示

▼資金不足比率

会計	開成町の比率	経営健全化基準
開成町下水道事業特別会計	—	20.0
開成町水道事業会計	—	

※資金不足などがない場合は「—」で表示

用語の解説

歳入・地方交付税…全ての市町村で一定水準のサービスが受けられるように国が交付するお金
国・県支出金…特定事業のために国や県から交付されるお金
地方消費税交付金…消費税8%のうち1.7%を町の人口や事業所従業員数などを基に分配されるお金

歳出・人件費…町長や町職員の給料、町議会議員や委員会委員の報酬
物件費…消耗品の購入費、通信費や公共施設の管理費などの経費
維持補修費…施設等の維持管理上必要な経費
扶助費…高齢者や乳幼児等の医療費助成や児童手当の給付など社会保障に必要な経費
補助費等…足柄西部清掃組合や小田原市(消防)などへの負担金や各種団体への補助金
公債費…町債(町の借金)と一時借入金の元本と利子の返済金
普通建設事業費…道路や公園、学校などの公共施設を建設する経費

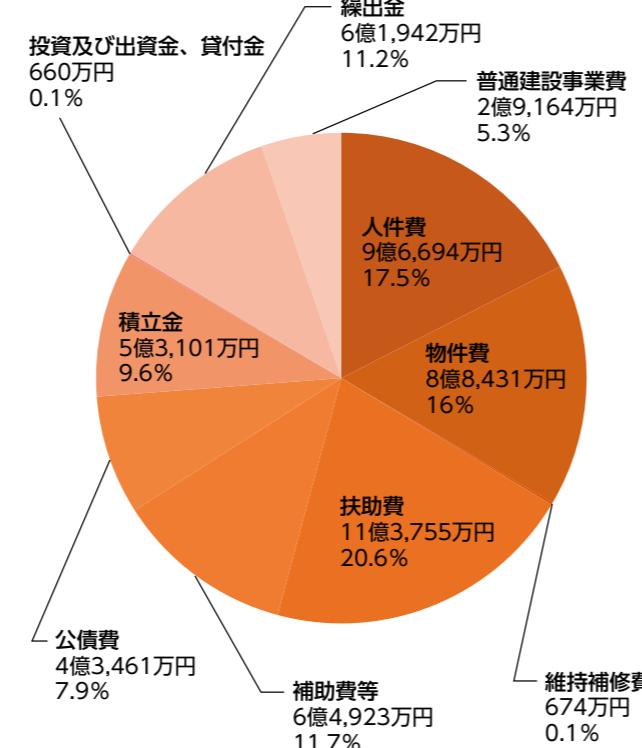
指標の説明
実質赤字比率…市町村の一般会計等の赤字の程度を指标化し、財政運営の深刻度を示すもの
連結実質赤字比率…全ての会計の赤字・黒字を合算し、市町村全体としての赤字の程度を示す比率
実質公債費比率…市町村の借入金の返済分等の大きさを指标化し、財政負担を見るための比率
将来負担比率…市町村の借入金や将来支払いが見込まれる負担分を指标化し、将来の負担を示すもの
早期健全化基準…財政状況の悪化により、自主的かつ計画的に改善を図る必要があるとされる基準
財政再生基準…財政状況の著しい悪化により、自主的な財政の健全化を図ることが困難な状況であるとされる基準
経営健全化基準…公営企業の経営状況の悪化により、自主的かつ計画的に改善を図る必要があるとされる基準

▼主な事業

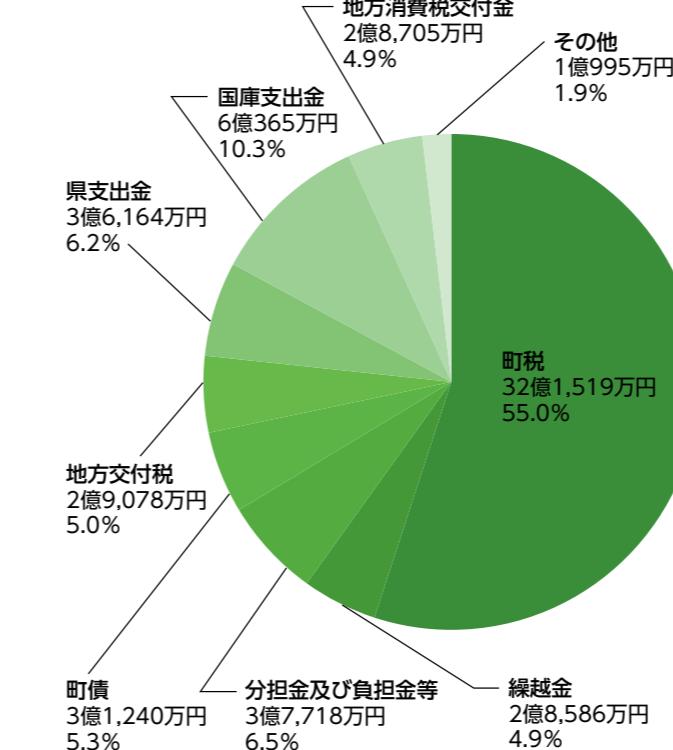
写真①幼稚園大規模改修工事	9,803万円
写真②庁舎整備実施設計業務委託	5,620万円
写真③瀬戸屋敷案内所改修他修繕工事	575万円
【その他】	
金井島水路護岸整備工事	499万円
十文字橋耐震補強設計委託	950万円
第3分団消防車両購入	923万円



▼一般会計決算



歳出 55億2,805万円



歳入 58億4,370万円

平成29年度の一年間において、町民の皆さんが納めた税金や国・県からの補助金などが、どのように使われたのかご報告します。

問 財務課 84-0322

一般会計の決算は、歳入が58億4千370万円(前年度比4.5%増)、歳出が55億2千805万円(前年度比4.2%増)でした。翌年度に繰り越しるべき財源を差し引いた実質収支は3億984万円で黒字となり、健全財政を維持していくことをなすものであります。また、積立金は5億3千101万円(前年度比5.9%増)となりました。これは、財政調整基金などを積み増したことなどによるものです。特別会計と企業会計を合わせた決算は、歳入が43億1千792万円(前年度比1.0%増)、歳出が40億8千836万円(前年度比0.3%減)でした。こちらについても、健全な経営が行われました。

▼特別会計・企業会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	20億2,120万円	18億2,782万円
下水道事業特別会計	5億8,928万円	5億6,645万円
介護保険事業特別会計	11億834万円	10億4,669万円
給食事業特別会計	8,736万円	8,700万円
後期高齢者医療事業特別会計	1億9,786万円	1億8,837万円
水道事業会計	3億1,388万円	3億7,203万円
合計	43億1,792万円	40億8,836万円